

新保顧問の「叙勲受章」について

「瑞宝単光章」とは？

「瑞宝単光章」は、公共の仕事などに長年従事し、功労があり、成績を挙げた人に贈られる勲章の一つです。明治21年に制定されました。

勲章のデザインは、古代の宝である宝鏡など、大小16個の連珠を配して、四条や八条の光線があり、鈕にはキリの花葉を用いられています。

受賞の伝達は、内閣総理大臣の命を受けて、内閣府賞勲局長が所管大臣に伝達を行い、所管大臣が適宜受章者に伝達します。



受賞にあたって

新保顧問は、鉄道信号工事の施工及び施工管理業務のすべての場面で中心的な役割を果たしてこられ、その功績が今回の叙勲受章に繋がりました。

新保顧問は、鉄道信号工事の施工及び施工管理業務に50年以上もの長きにわたり従事されています。在来線関係をはじめ、特に新幹線関係で多くの功績を残されました。

北陸新幹線の金沢延伸、九州新幹線新設、北陸新幹線敦賀延伸等の各工事に於いて、機構との打合せ及び多系統との工程調整をされました。

また、工事施工では安全管理と施工品質の確保、若手社員の育成などすべての場面で中心的な役割を果たして来られました。

